

OCVBが3専門委

「誘致」など政策反映へ

沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)は1日、県内観光関係者でつくる「誘

致推進」「受入推進」「財務企画」の3専門委員会を立ち上げ、宜野湾市内で定例会を



今後の取り組みについて議論する受入推進委のメンバーら11日、沖縄コンベンションセンタ

開いた。3専門委で観光の現場の声を集約し、政策に反映させる狙いがある。OCVBの観光関連事業を任分けし、9月までに来年度予算に向けた要求をまとめる。

3専門委は会長・副会長の諮問機関として設置。旅行会社や宿泊施設などの観光関係者計35人が委員を務める。

誘致推進委員長に県レンタカー協会長の白石武博氏、受入推進委員長に日本エコツーリズム協会理事の比嘉梨香氏、財務企画委員長に沖縄観光の未来を考える会代表理事の新垣安男氏が着任。各委員

会は「医療ツーリズム」、「地域・産業連携」、「予算措置」などの分科会を開き、具体的な方策を議論する。

誘致推進委員長の白石氏は「今まではPDCA(P計画、D実行、C評価、A改善)やマーケティングが欠落していた。今までの事業を総括し、新しい戦略を作るのがミッション」と話した。

平良朝敬氏・上地恵龍氏・東良和氏

OCVB副会長に3氏

3専門委立ち上げへ

沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)の安里繁信会長は6日、OCVB副会長に日本ホテル協会沖縄支部長の平良朝敬氏、琉球大学観光産業科学部教授の上地恵龍氏、日本旅行業協会沖縄支部長の東良和氏を起用すると発表した。併せて、観光の課題抽出や商品開発などに取り組む「誘致推進」「受入推進」「財務企画」の3専門委員会を来月にも立ち上げる。



平良朝敬氏



上地恵龍氏



東良和氏

副会長は非常勤で無報酬。協会との連携、施策の立案に主に関わる。安里会長は「経験が豊富で観光の産業化に貢献する人材を選任した」と説明。

県担当者も交えた役員会議を定期的に開き、情報と戦略を共有する。新設する各専門委員会の委員長には、県レンタカー協会

観光政策立案へ組織改革

沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB)が副会長と専門委員会を新たに設置した背景には、県観光関連事業の受託を中心としている現在の組織体制を、シンクタンクや政策立案の役割を担ったものへ進化させる狙いがある。

副会長は内部的には観光業界の情報収集と政策立案、対外的には観光協会との連携強化と地域の観光施策の研究などにあたる。

目指すのは「顔の見える組織づくり」で、「観光関係者に意見があっても十分に議論する場がなかった」(安里会長)という反省点を踏まえ、専門委員会は会長・副会長の諮問機関として設置。「誘致推進」と「受入推進」では、単体での集客になりがちな観光事業者を束ねるほか、MIT CEや数次ビザなどテーマ別の観光商品の研究開発を進める。「財務企画」では2013年までに選択が迫られる法人制度改革の方向性を探る方針。

OCVBの組織改革に県や業界も注目する。下地芳郎県観光政策統括監は「観光の現場からマーケティングに基づいた提言がされるのは政策強化につながる」と期待する。

沖縄観光の未来を考える会の新垣安男代表理事は「OCVBに政策立案の機能がなかったので、考える会が発足した経緯がある。民間の声を吸い上げる機能ができることは歓迎」と話した。

長の上白石博氏(誘致推進)、日本エコツーリズム協会理事の比嘉梨香氏(受入推進)、沖縄観光の未来を考える会代表理事の新垣安男氏(財務企画)を選任する方向で調整を進めている。安里会長は「各専門員会で観光の現場の声を集め、具体的な戦略づくりに反映させる」としている。

OCVBの組織改革に県や業界も注目する。下地芳郎県観光政策統括監は「観光の現場からマーケティングに基づいた提言がされるのは政策強化につながる」と期待する。

沖縄観光の未来を考える会の新垣安男代表理事は「OCVBに政策立案の機能がなかったので、考える会が発足した経緯がある。民間の声を吸い上げる機能ができることは歓迎」と話した。

OCVB 副会長に3理事 3専門委員長も決定

沖縄観光コンベンションビューロー(OCVB、安里繁信会長)は6日、初めて設置した副会長に平良朝敬(日本ホテル協会沖縄支部長と上地恵龍琉球大学教授、東良和(日本旅行業協会

沖縄支部長の3理事を充てる人事を発表した。就任は7日付。3氏とも非常勤。また、他のOCVB理事から専門委員会の委員を委嘱する。誘致推進委員会に白石武博(県レンタカー協会

会長、受入推進委員会に比嘉梨香(日本エコツーリズム協会理事、財務企画委員会)、新垣安男(沖縄観光の未来を考える会)会長を充てる。3氏はそれぞれの委員会の委員長に互選の予定。

OCVBは、今回の副会長人事の発令について「観光産業の各分野の専門性を踏まえた、きめ細かな観光施策を図るため」と説明している。



平良朝敬氏



上地恵龍氏



東良和氏